

岐阜協立大学生への 就職活動意識調査 ～マイナビの調査結果との比較～

山本(重)ⅡA

安澤有香 酒井誉礼 河瀬椋太

柘植大和 スズキグスタボ等之 池田悠大

背景

早期離職を防ぐために、事前に企業研究や業界研究を行い、自分に合った環境や働き方を理解しておくことが重要だと考えた。

そこで、本学の学生は就職に対してどのような意識を持っているかを調査することにした。

目次

- 目的
- 入社後の早期離職について
- 先行研究、マイナビの調査結果について
- 本学学生へのアンケート調査の概要と結果
- マイナビの調査結果と比較して
- まとめ

目的

本学の学生の就職意識についてアンケート調査を行い、早期離職とならないだけの業界・企業研究が行われているかを確認すること。

また、マイナビのアンケート調査結果とも比較し、本学の学生の傾向を分析する。

入社後の早期離職について

- 就職後3年以内の離職率は新規高卒就職者38.4%、新規大卒就職者34.9%
- 早期離職理由として、人間関係（上司や同僚）、社風や労働条件、会社の将来性への不安が挙げられる。
- 早期離職率の多い業界としては、宿泊業、飲食サービス業や、娯楽業、教育、学習支援業などと言った業界が多い。
- 育成やフォロー不足も原因とされ、入社後に十分な研修や相談体制がなく、孤立してしまう。新人が自ら働くべきという文化が強い職場では、早期離職が増えやすい。
- 採用時に聞いた仕事内容や社風が、実際に働いて見ると異なり、会社に対してマイナスなイメージ持つ人が多くいる。

就職後3年以内の離職率は約3割

最近は、新卒で就職しても早期離職してしまう人が増えている。

入社1年目での
離職率が最も高い

卒業後の経過年数	離職率（累積）	各年ごとの離職率（推定）
1年目終了時点	12.0%	12.0%
2年目終了時点	21.6%	9.6%
3年目終了時点	32.3%	10.7%

およそ3人に1人が3年以内に
最初の会社を辞めている

なぜ離職率が高いか

1年目での離職が一番多い背景には、「入社前後のギャップ」が大きく影響している。

- ・ 学生時代に抱いていた仕事への理想やイメージと、入社後の現実との間に大きな隔たりを感じる。組織文化へのギャップが、早期離職の引き金となる。
- ・ 新しい環境、人間関係、学生から社会人への役割変化など多くのストレスに直面する孤立感を深め、働く意欲を失いやすくなる。
- ・ 求人票に記載されていた内容と、実際の残業時間や休日取得の状況が大きく異なる場合も、会社への不信感につながる。

2年目・3年目の離職理由

2年目：自身のキャリアに対する漠然とした不安が生まれる。

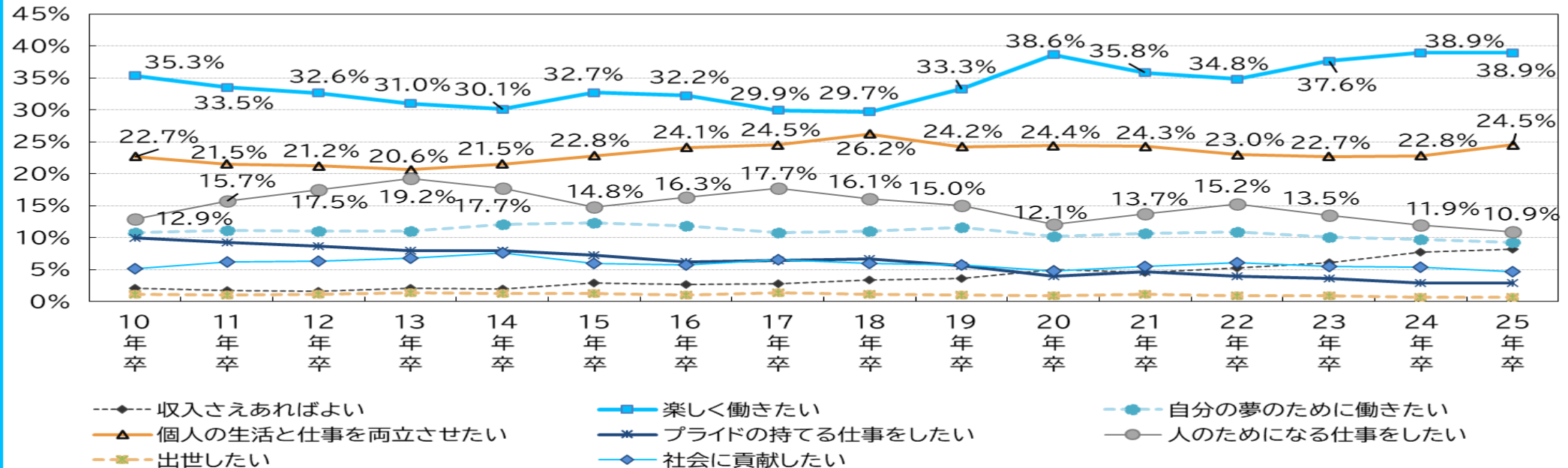
3年目：「より高い給与や待遇を求める」「専門性を高めるため」といったポジティブなキャリアアップを目的とした転職が活発になる。

先行研究、マイナビの調査結果について

就職観

就職観の推移

*数字は上位3項目のみに記載



- 「楽しく働きたい」が最多。
- 増加幅がもっとも大きかったのは「個人の生活と仕事を両立させたい。」

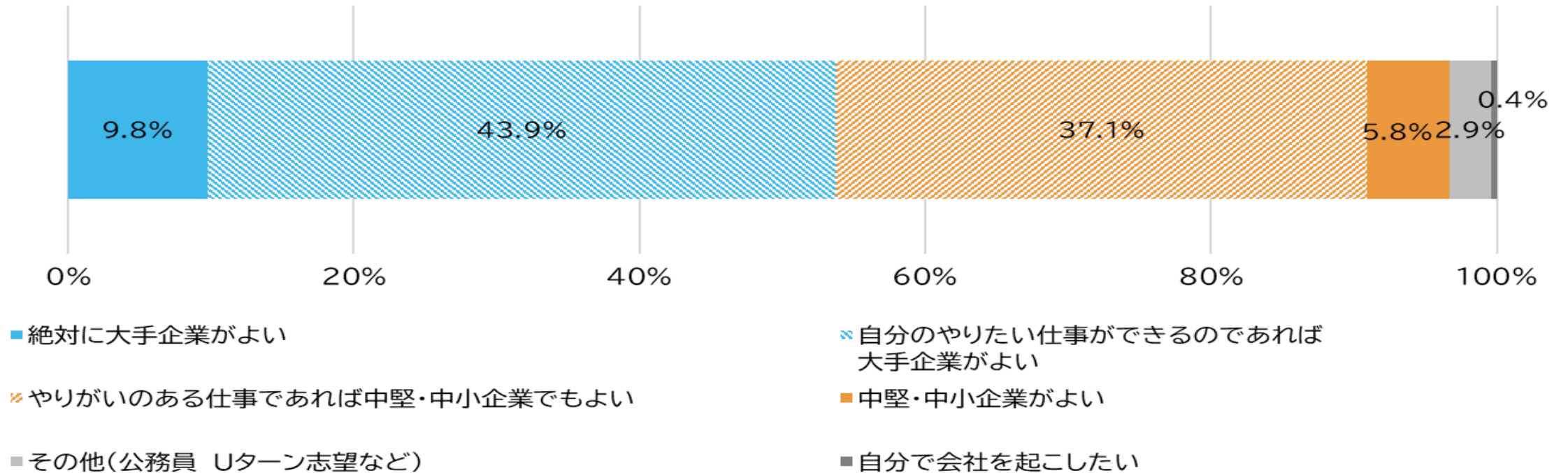
働きやすい環境を希望したり、「育児休暇を取得して子育てをしたい」という割合が男女ともに高い傾向にある。



学生のワークライフバランス志向が反映されていると推測されている。

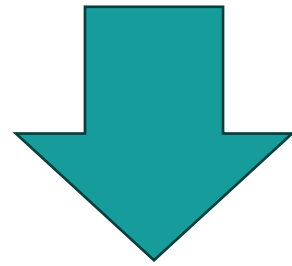
企業志向

企業志向(回答項目詳細)



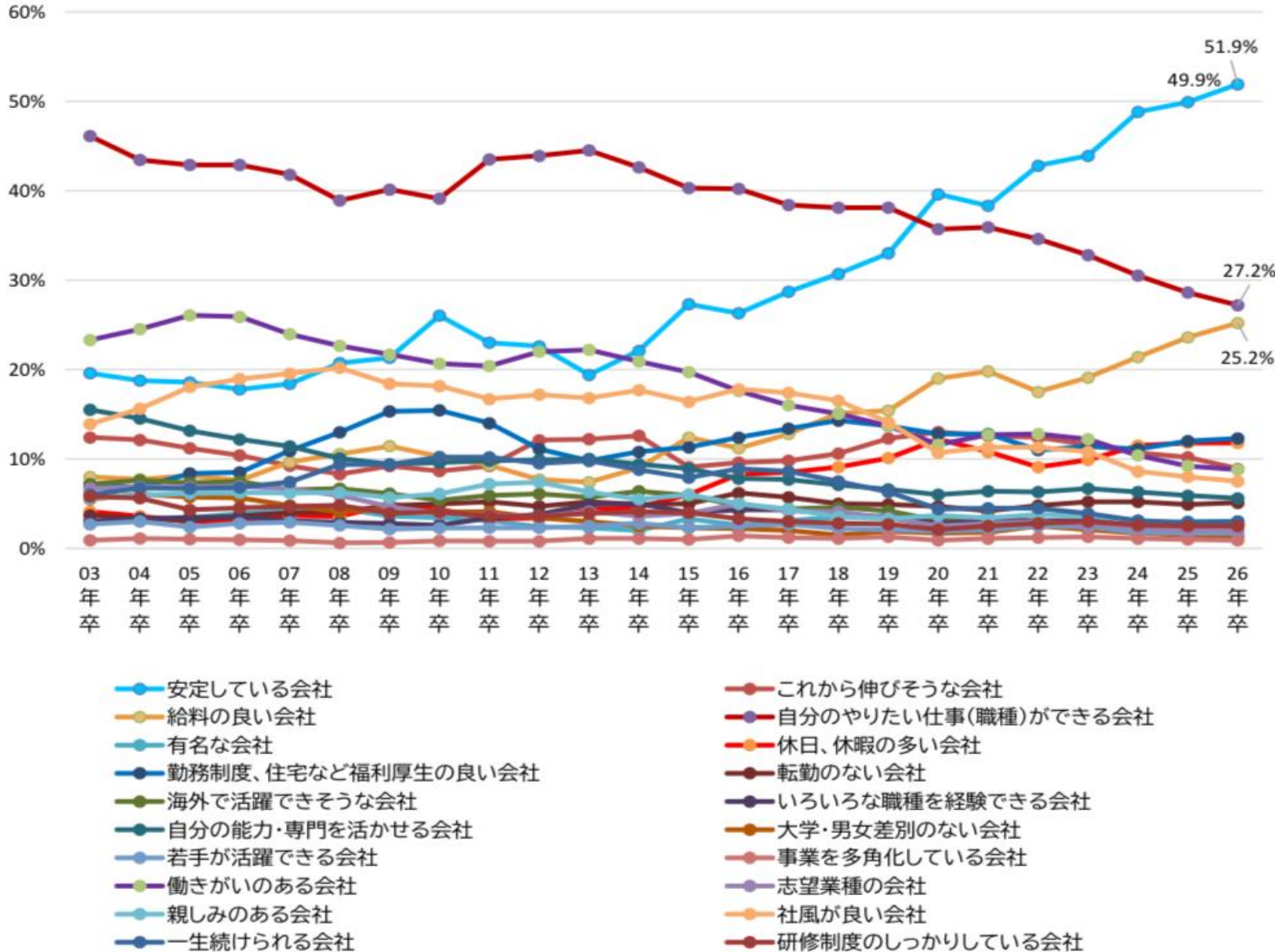
「絶対に大手がいい」という回答が1割未満
「自分のやりたい仕事ができるのであれば大手がいい」は最も多い43.9%
やりたい仕事に対する学生の関心の高さも伺える。

物価上昇や実質賃金の低下、大手企業を中心とした賃上げ・初任給引き上げに関する報道がなされる中、経済的な不安を軽減させたいという思いがある。



大手企業志向が増加したと考えられる。

【図7】企業選択のポイント推移(03年卒～26年卒)



マイナビ2026年卒大学生
就職意識調査結果(左図)

調査結果のまとめ

- ・自分のやりたいことができる会社に行きたい学生が減少
- ・安定している会社、給料の良い会社が増加

調査結果を元に分析すると

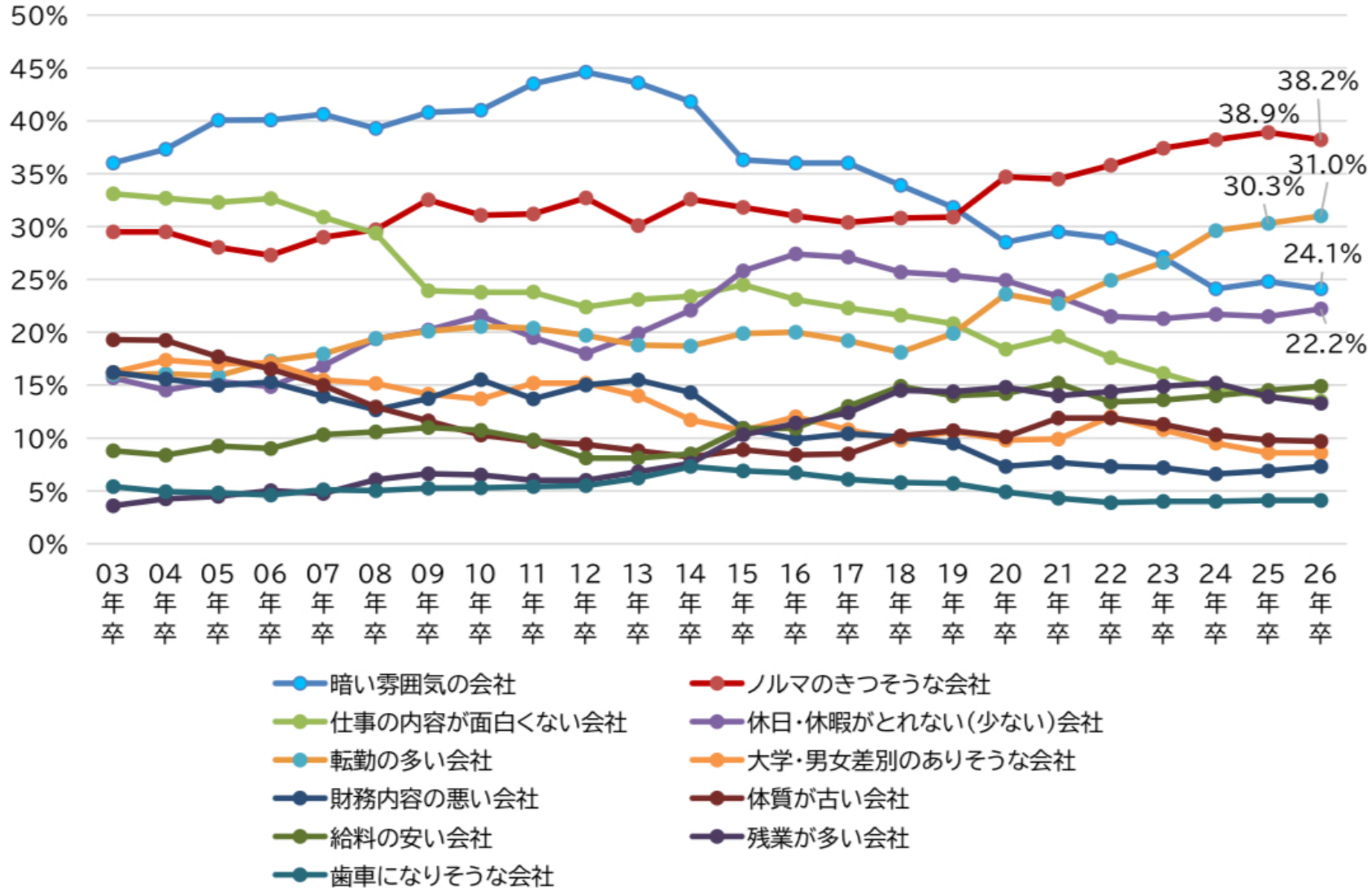
安定した会社、給料の良い会社を選ぶ学生が多い理由としては社会的な背景があると考ええる。

理由として考えられる事

- 近年若者の将来のお金に対する不安が増加
- 企業も初任給や賃上げの動きが活発化
- 共働きの増加。
- 円安、コロナ禍の影響で経済が不安定
- 物価上昇

など様々である。

【図8】行きたくない会社



逆に行きたくない会社はどうか

まとめ

- ノルマがきつそうな会社、転勤の多い会社が増加
- 暗い雰囲気のある会社は減少傾向

本学学生へのアンケート調査の概要と結果

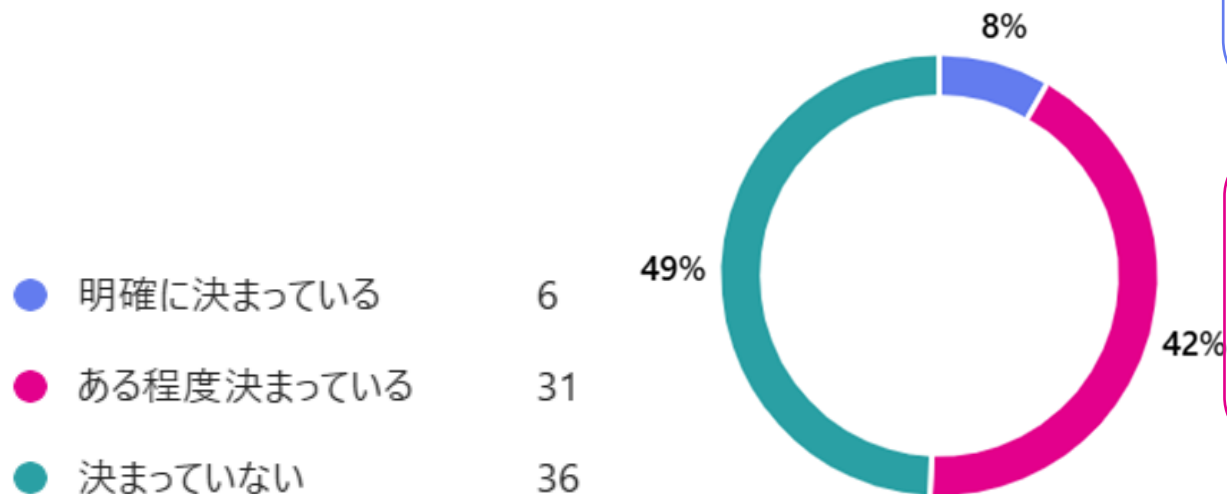
本学学生76人に対して、formsにてアンケート調査を11月に行った。

主に2年生が回答している。

質問項目は先行研究で取り上げたマイナビの質問項目と同じ質問項目にした。

質問項目は14項目である。

3. 志望業界は決まっていますか？



「明確に決まっています」学生は非常に少ない。早期から就職活動に向けて具体的に考えられている学生はごく一部に限られている。

「ある程度決まっています」と回答した学生は比較的多い。完全に決めてはいないが方向性を持っている学生が一定数いる。

半数近くの学生が志望業界をまだ決められていない。業界研究の不足や自分に合う仕事はまだイメージできていない学生が多い。

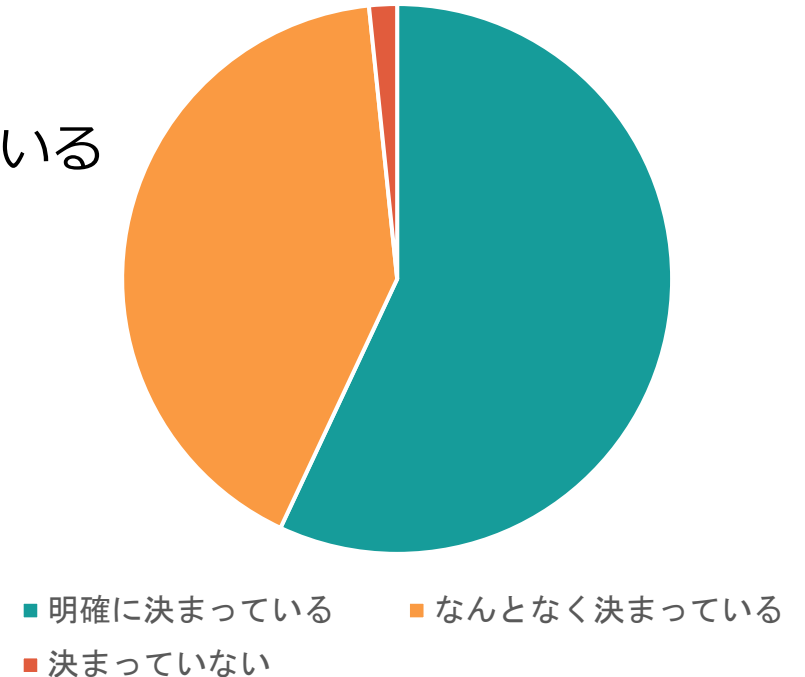
学生全体としては、業界や職種に対する理解がまだ浅く、情報収集や自己分析が十分に進んでいない状態であるといえる。

志望業界は決まっているか

総じて、今回の結果は「多くの学生が志望業界を意識し始めている一方で、確信を持っていない学生も一定数存在する」という実態を示している。

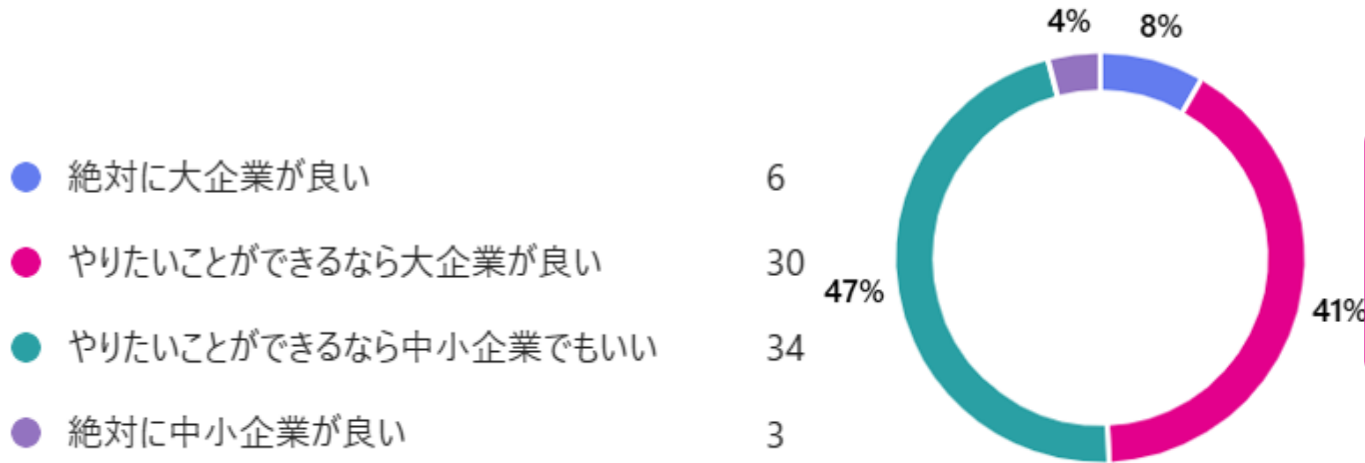
特に「なんとなく決まっている」層が4割を占めることは、今後のキャリア支援や情報提供の必要性を示唆しており、学生がより明確な選択を行えるよう、実地体験や具体的な業界説明の機会を増やすことが重要であると考えられる。

志望業界



4. 大企業か中小企業どちらが良いか

「絶対に大企業が良い」「絶対に中小企業がいい」は少数派。
多くの学生が柔軟に企業選択を考えていることが分かる。



「やりたいことができるなら大企業がいい」は最も多い。
安定性や福利厚生など大企業の魅力を感じつつ、仕事内容へのこだわりも強い傾向が見られる。

「やりたいことができるなら中小企業でもいい」もほぼ同じ割合。
学生の多くが企業規模よりも働く内容や自分の成長環境に価値を置いていることを示している。

企業規模にとらわれず、自分に合った環境や、挑戦できる
仕事を重視して就職観を形成していると考えられる。

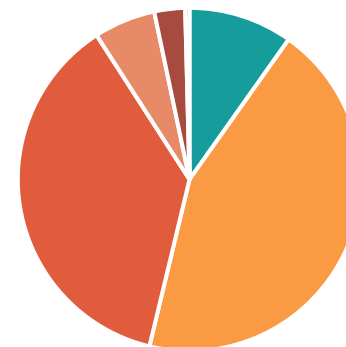
大企業と中小企業どちらが良いか

自分のやりたい仕事ができるのであれば大企業が良いという回答が44%

やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよいという回答が37%

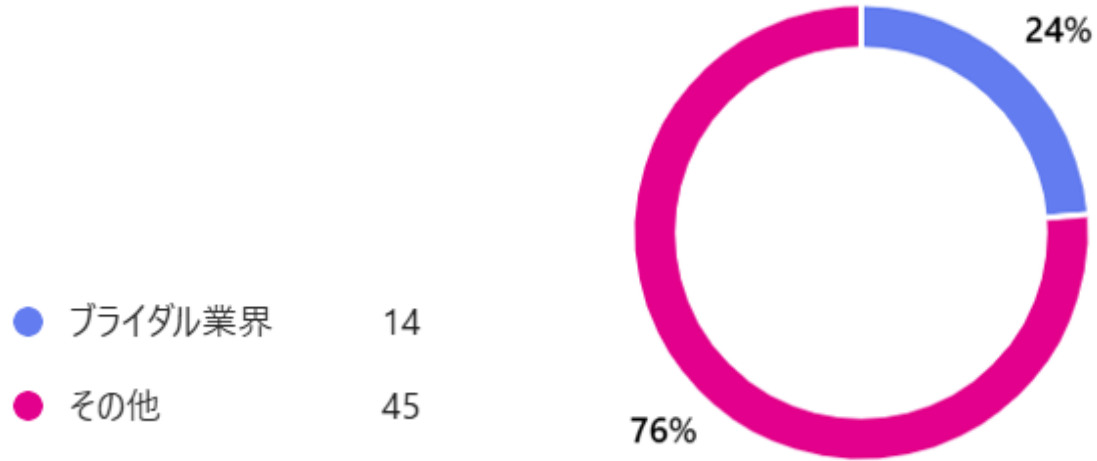
このことから絶対に大手企業が良いという考え方ではなく自分のやりたい仕事・やりがいを重視して企業を選んでいると考えられる。

大手志向と中小志向



- 絶対に大手が良い
- 自分のやりたい仕事ができるのであれば大手企業がよい
- やりがいのある仕事であれば中堅・中小企業でもよい
- 中小企業が良い
- その他（公務員 Uターン）
- 自分で会社を起こしたい

5. 志望業界は何ですか



ブライダル業界を志望する学生は少数。仕事内容の専門性や働き方のイメージが強く、人によって向き不向きがはっきり出やすいいため、志望者が限定されると考えられる。

「その他」の回答から、学生が多様な業界を視野に入れ、特定の業界に偏っていないことが分かる。

学生の興味・関心は一つの業界に集中しておらず、幅広い選択肢の中から自分に合った職を探している傾向があるといえる。

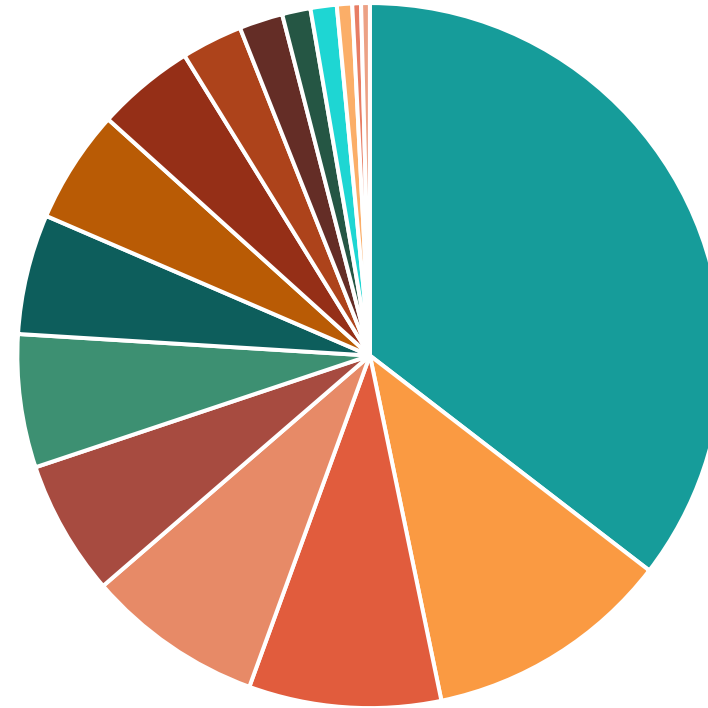
志望業界

製品の企画、研究開発、設計、製造、品質管理、営業、資材調達、広報など仕事内容が多い安定性の高いメーカー業界が最も多く。

これから増えて安定するであろうIT・通信業界がその次に多かった。

このことから、とにかく安定した職に就きたいと考える人が多いと思われる。

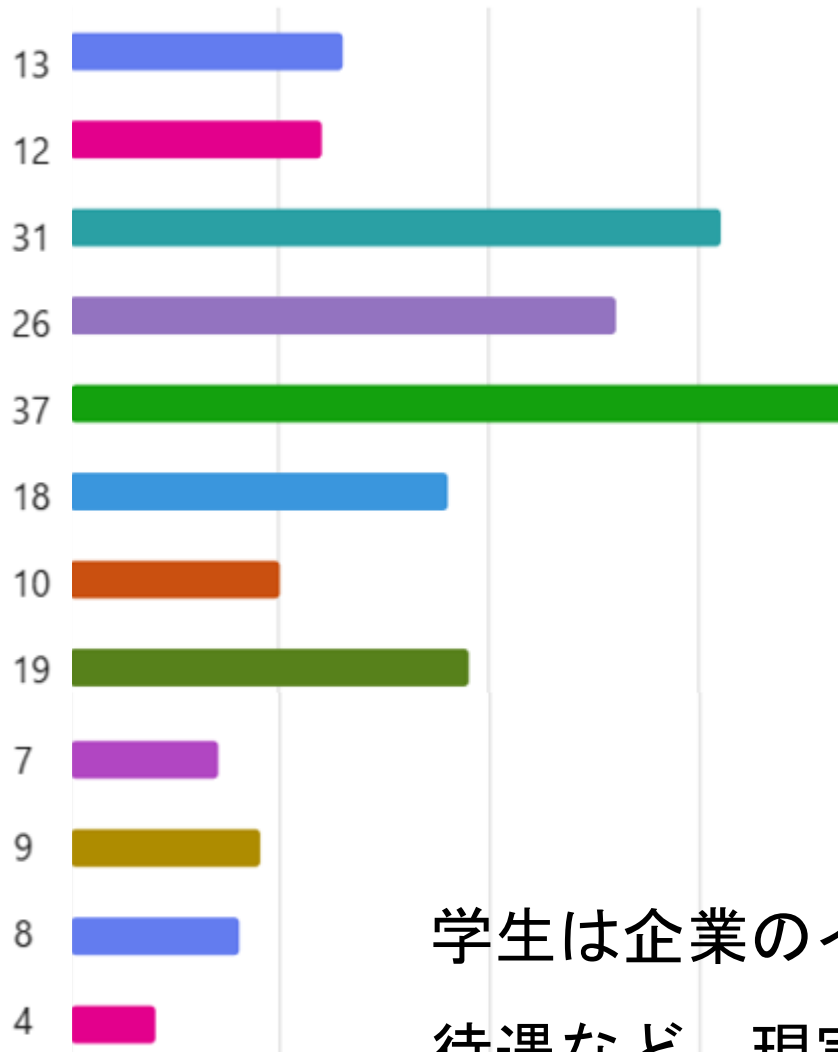
志望業界



- | | | |
|------------|-----------|----------------|
| ■ メーカー | ■ IT・通信 | ■ コンサル・シンクタンク |
| ■ 広告・マスコミ | ■ 商社 | ■ 金融 |
| ■ 未定・検討中 | ■ インフラ・交通 | ■ 不動産・建設 |
| ■ 公務員・団体職員 | ■ 旅行・観光 | ■ 人材・教育 |
| ■ その他 | ■ 医療・福祉 | ■ ブライダル・美容・暮らし |
| ■ 小売・流通 | | |

6. 企業を選んだ理由

- 社風
- 勤務地
- 給与
- 福利厚生
- 働きやすさ（有給、勤務時間）
- 環境
- 会社の成長性
- 会社の安定性
- 知名度
- 研修制度がしっかりしている
- 学歴や男女差別がない
- その他



「働きやすさ」が最も重視されている。
勤務時間や有給の取りやすさなど、働く環境を意識する傾向が強い。

次いで「福利厚生」「給与」が多い。
生活面の安心感や待遇面を重視している。

「知名度」は少数。
ブランドよりも実際の働きやすさや制度を重視している。

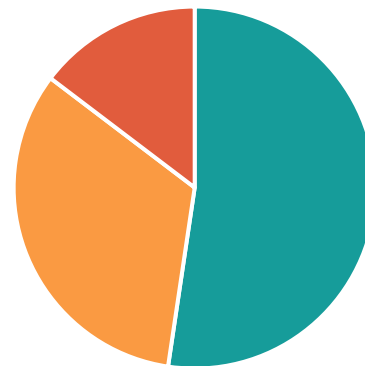
「研修制度」「差別がない」といった項目も一定数あり、安心して長く働ける環境を求める。

学生は企業のイメージよりも、働きやすさや待遇など、現実的で安定した働き方を重視していると考えられる。

企業を選んだ理由

企業を選んだ理由として楽しく働きたいが最も多かった。単に楽をしたいという考えではなく、良好な人間関係や、風通しの良い職場で働きたいという思いがあるのではないかと考えられる。

企業を選んだ理由



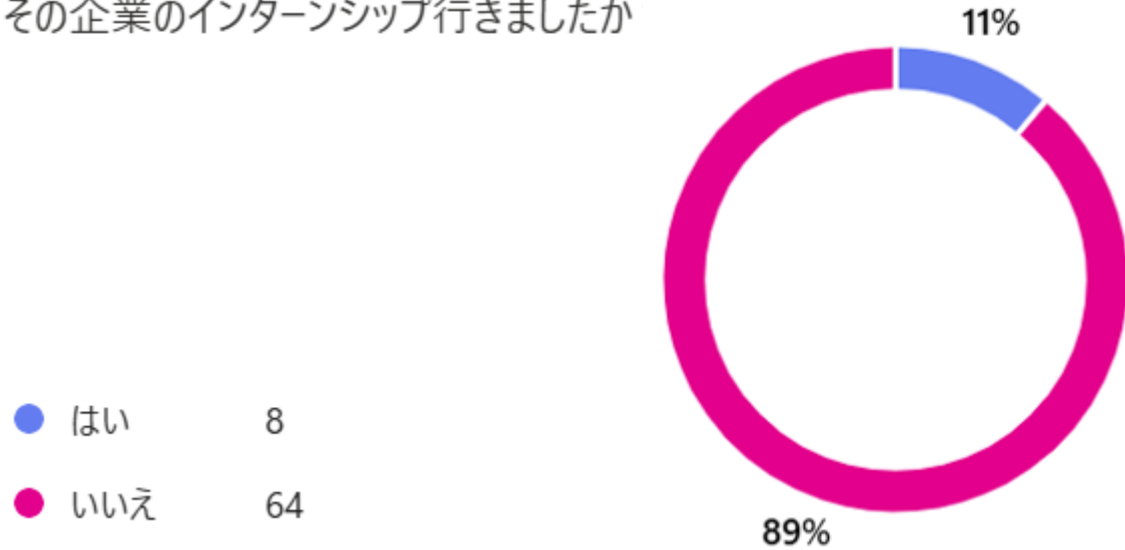
■ 楽しく働きたい

■ 個人の生活と仕事を両立させたい

■ 人のためになる仕事をしたい

回答者に二年生もいることからインターンに参加する機会や必要性を感じてない学生多い。

7. その企業のインターンシップ行きましたか



これから本格的にインターンに参加する時期がくるという状況が読み取れる。

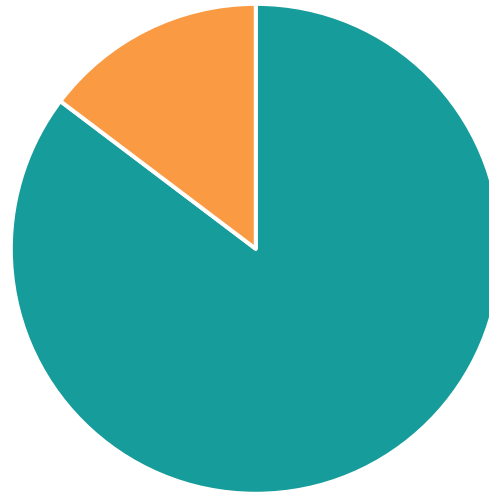
今後、企業理解を深めたり、自分に合う職場を見つけたりするためにも、インターンシップの活用が重要になってくると思う。

インターンシップに参加しないまま企業を選ぶと、ミスマッチの原因になる可能性もある。

働く姿をイメージするために、積極的にインターンシップへ参加する必要があるといえる。

インターンシップの参加の有無

インターンシップの参加の有無

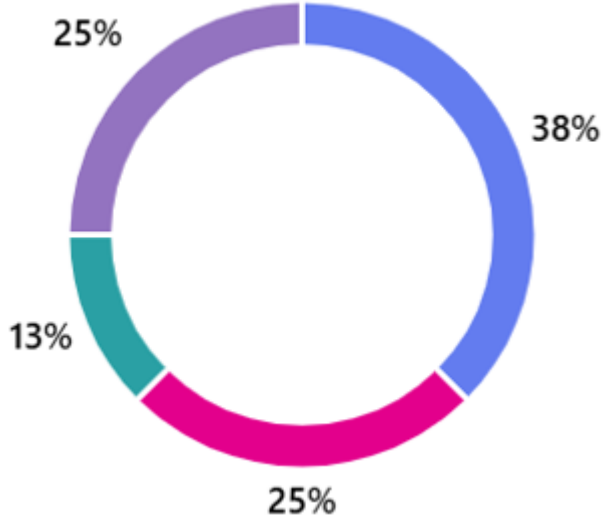


■ 参加した ■ 参加していない

インターンシップに参加した割合が8割越えであった。就活をするにあたって必須になっている前提条件であることがこの結果からインターンシップがいかに重要なのか伺えられると考えられる。

8. 何回インターンシップに参加しましたか？

- 1回 3
- 2回 2
- 3回 1
- 4回以上 2
- 行ってない 0



「1回」が最も多い。
試しにまず行ってみるといふ考えの人が
多い

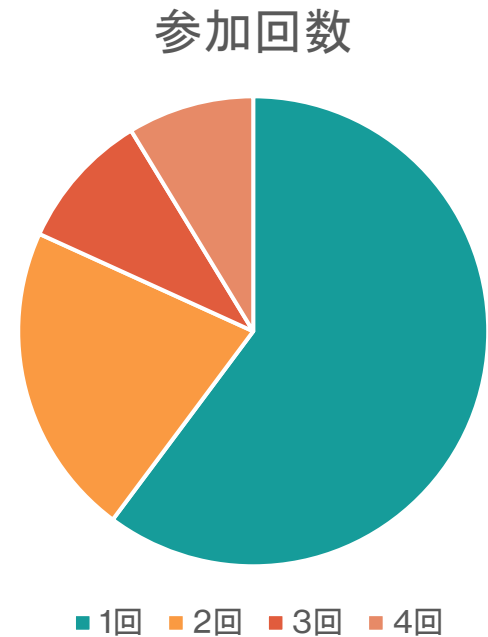
複数回参加している学生も全体の半分ほどいる。
半数以上が積極的に複数の企業を見ている。

「4回以上」もいることから、
進路をしっかりと考えている・比較したい経験を
積みたい意欲が強いといった特徴が考えら
れる。

1回と4回以上では、得ている情報量や企業理解も違う。
経験の差が広がらないようにするとい

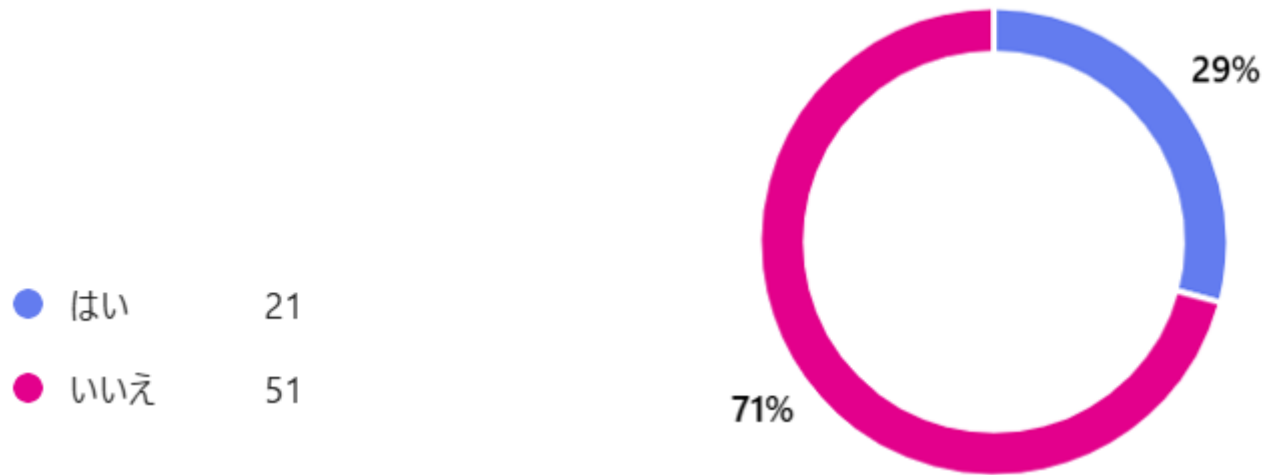
インターンシップに行った回数

このアンケートの結果から、インターンシップに参加した回数が1回が最も多かった。
前のアンケートの結果から、就活をするにあたっての前提条件であることが分かるため、
1回でも参加しようという考えが見えてきた。



7割以上の学生が、就活関連イベントに参加していないことが分かる。

9. 合同企業説明会や、就活セミナー等のイベントに行きましたか？



「就職に対して準備が早い」
「情報を積極的に取りに行く」など
行動力が高い層であるといえる。

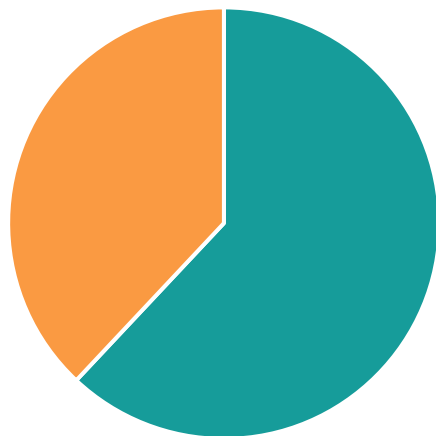
「まだ就活の実感がない」
「何から参加したらいいのかわからない」など
全体的に就活の動きがまだ本格化していない学
年の可能性ある。

未参加の学生に向けて、イベントの必要性やメリットを伝える。

早めに行動することで、情報量・経験・選択肢・準備・余裕を持って就活を進めることができ、焦らず自分にあった進路を決められる。

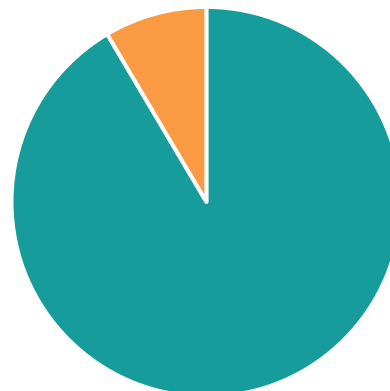
合説、セミナーに行ったか

会場型



■ 参加 ■ 未参加

オンライン形式



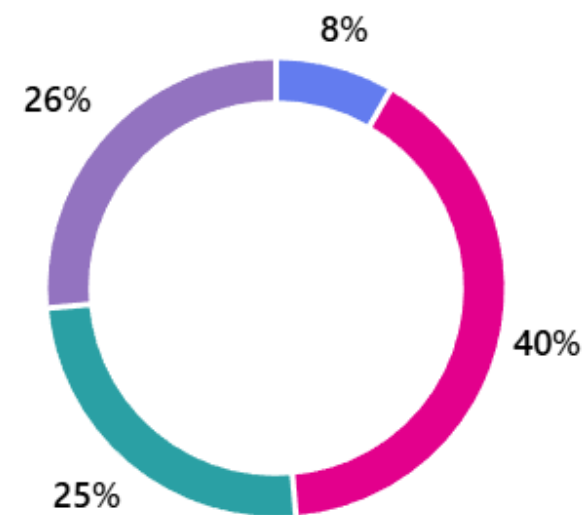
■ 参加 ■ 未参加

会場型の合同説明会・セミナーでは6割の人が参加しており、オンライン形式では9割の人が参加していることが分かった。このことから、服装や会場などが決まっている会場型よりも、自宅から参加できて精神的に苦では無いという観点から気軽に参加できるオンライン形式の合同説明会や、セミナーの方が人気ということが考えられる。

10. 友人等と就活の話をしますか？

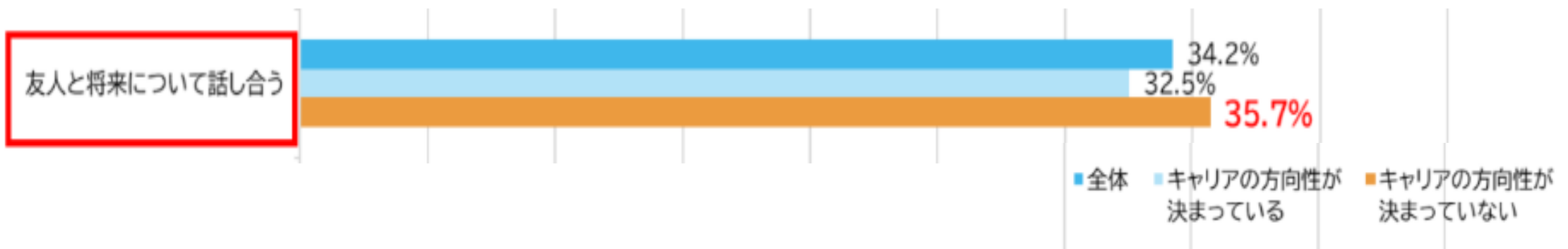
[詳細情報](#)

● よくする	6
● たまにする	29
● あまりしない	18
● しない	19



就活の話をする人はそこまで多くないことが分かる。
就活意識が二年生の中ではあまり感じていない人 9 割ほどという結果だった。

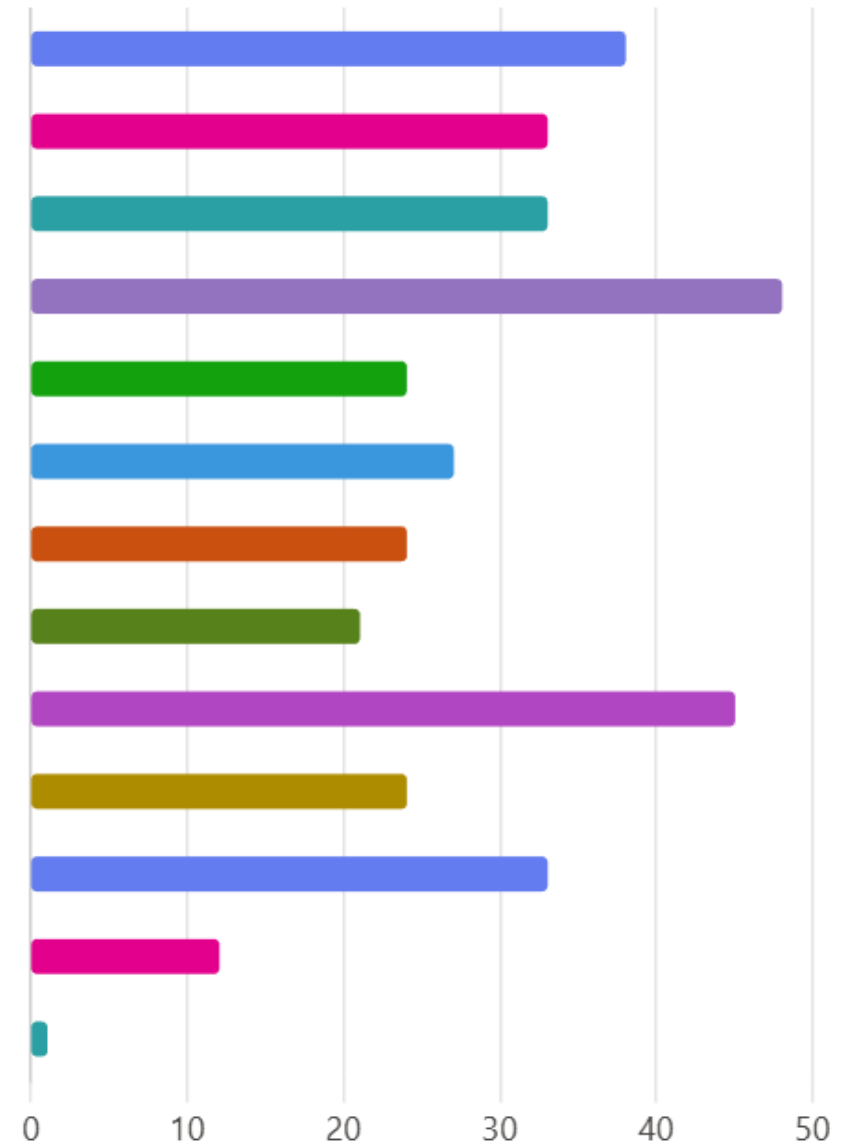
友人等と就職活動の話をしますか



- ・友人と話さない人が約65%と多く、これは就職活動の進度に差があるため比較されたくない、就職活動は個人の戦いであるため情報を提供したくないと考えている人が多くいるからであると考えられる。

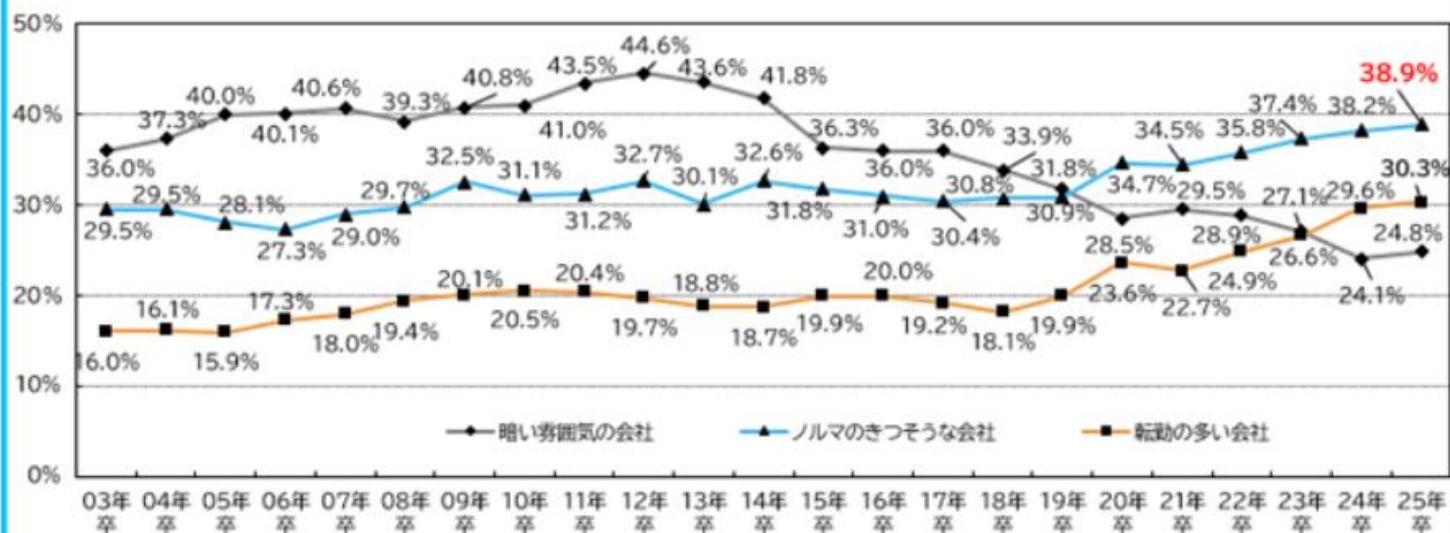
11. 行きたくないと思う企業の特徴

● 暗い雰囲気がある	38
● ノルマがきつそう	33
● 仕事がつまらない	33
● 休日が少ない	48
● 転勤が多い	24
● 学歴や男女差別がありそう	27
● 安定感がない	24
● 体質が古そう	21
● 給与が少ない	45
● 自分の成長が見込めない	24
● 残業が多い	33
● 歯車になりそう	12
● その他	1



行きたくないと思う会社の特徴

行きたくない会社(上位3項目)

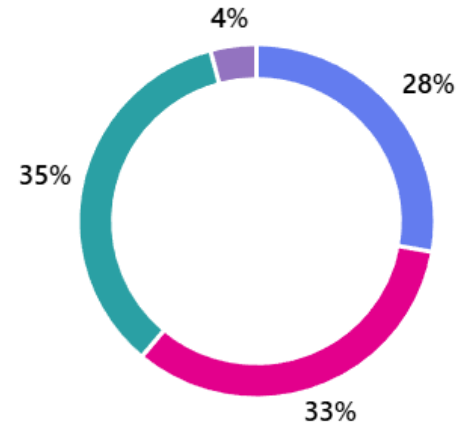


- ・ ノルマや暗い雰囲気は精神的負担に直結するものであり、成果を出さなければならないプレッシャーを避けようとしていることが考えられる。

- ・ 転勤の多い会社は避けられる傾向にあるが、これは生活リズムが崩れないように生活の安定を重視しているからであると考えられる。

12. 現時点において、大学卒業後に自分が就きたい仕事・キャリアの方向性が定まっていますか。

● まったく決まっていない	20
● どちらかと言えば決まっていない	24
● どちらかと言えば決まっている	25
● 具体的に決まっている	3



何がしたいか決まってい
ない人が7割以上

マイナビの結果とほぼ一致

13. 現在希望している仕事・キャリアについて、実際にその仕事をしている人やキャリアを歩んでいる人に話を聞いたことはありますか。

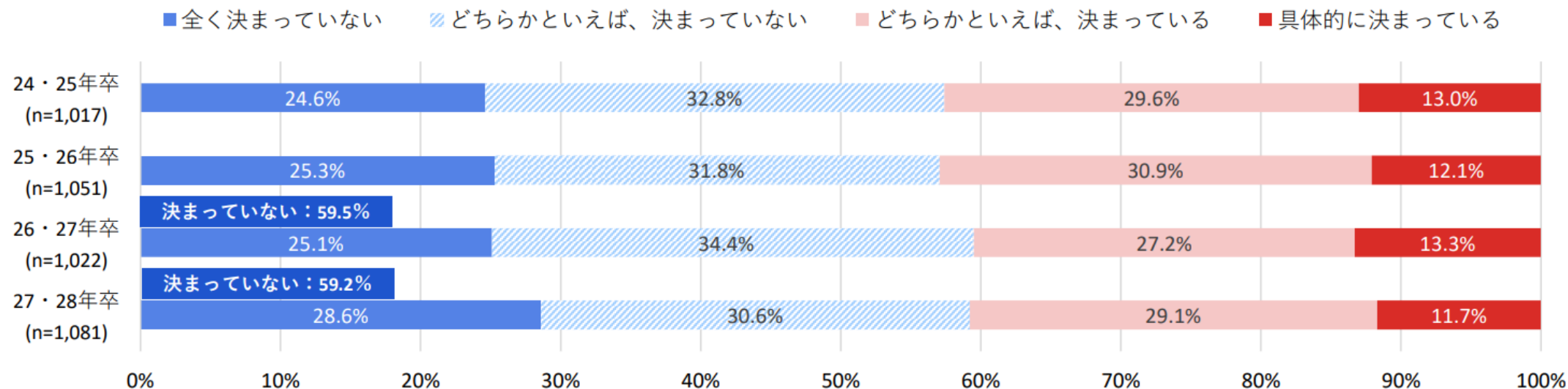
● 話を聞いたことがある	38
● 話を聞いたことがない	34



比較的話を聞いたこと
ある学生が多い

自分が就きたい仕事・キャリアの方向性

【図1】現時点において、大学卒業後に自分が就きたい仕事・キャリアの方向性が定まっているか



- ・ 決まっていなると答えた人が約6割と多いが、これは自己理解が出来ている人が少なく、選択肢や情報が多すぎるが故に、キャリア形成が難しくなっていることが考えられる。

その仕事をしている人やキャリアを歩んでいる人に話を聞いたことがありますか

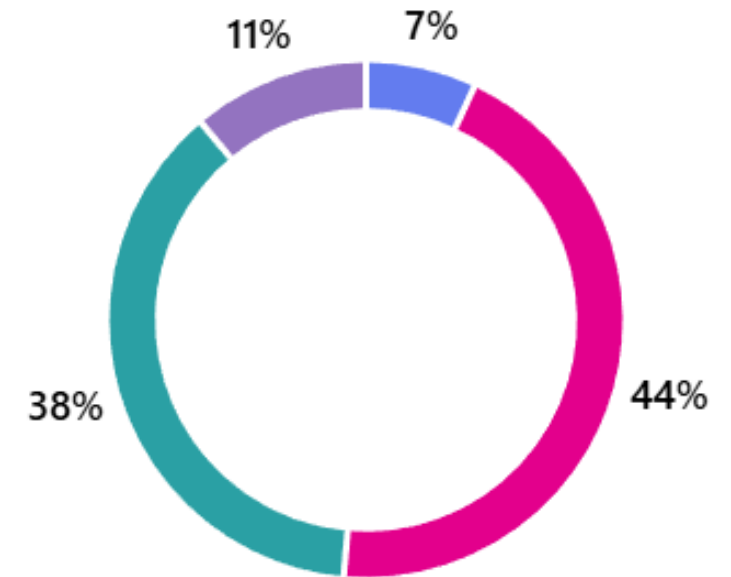
◆大学卒業後に自分が就きたい仕事・キャリアの方向性が「どちらかといえば、決まっている」「具体的に決まっている」人のみ回答
 (8)現在希望している仕事・キャリアについて、実際にその仕事をしている人やキャリアを歩んでいる人に話を聞いたことはありますか。(複数回答)

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	男子	女子
回答数	498	62	154	71	211	216	282	133	365
両親	25.6%	30.6%	19.5%	31.0%	23.7%	24.5%	27.4%	30.8%	21.1%
祖父母や親戚	8.6%	3.2%	7.1%	15.5%	11.4%	5.4%	13.5%	8.5%	8.7%
大学の先輩(他大学含む)	12.0%	12.9%	10.4%	12.7%	12.8%	11.5%	12.7%	12.8%	11.3%
同世代の友人	6.2%	9.7%	1.3%	11.3%	4.7%	5.0%	8.0%	10.4%	2.6%
兄弟姉妹	1.6%	1.6%	1.3%	2.8%	0.9%	1.4%	1.9%	2.1%	1.2%
恋人	1.6%	1.6%	2.6%	-	1.4%	2.2%	0.7%	0.9%	2.2%
中学・高校の教員	14.2%	17.7%	14.9%	12.7%	10.0%	16.2%	11.3%	15.6%	13.1%
大学職員・教授(授業や講義含む)	20.5%	21.0%	20.8%	18.3%	21.8%	20.9%	20.0%	19.8%	21.2%
インターンシップ等のキャリア形成プログラム*先の社員	4.3%	3.2%	5.2%	7.0%	1.4%	4.3%	4.3%	4.9%	3.8%
アルバイト先の社員	4.2%	6.5%	5.2%	2.8%	0.9%	5.8%	1.9%	4.9%	3.6%
社会人の先輩(キャリア形成プログラム*やアルバイト先以外)	7.2%	6.5%	5.8%	11.3%	6.2%	6.1%	8.7%	8.5%	6.0%
SNS上で繋がっている人	2.2%	-	1.9%	4.2%	3.3%	1.1%	3.8%	1.8%	2.5%
その他	4.3%	4.8%	5.2%	2.8%	3.8%	5.0%	3.3%	4.0%	4.7%
話を聞いたことはない	33.3%	25.8%	38.3%	33.8%	34.6%	32.7%	34.2%	29.3%	36.9%
話を聞いたことがある	66.7%	74.2%	61.7%	66.2%	65.4%	67.3%	65.8%	70.7%	63.1%
話を聞いたことはない	33.3%	25.8%	38.3%	33.8%	34.6%	32.7%	34.2%	29.3%	36.9%

- ・ 6割以上の方が話を聞いたことがあるという結果だが、これは現場の声は就職活動において重要な情報源となるため、学生はリアルな情報を求めて積極的に動いているのだと考えられる。

14. 現時点で、自分の特技や強み、適性についてどの程度把握していますか

● よく分かっている	5
● どちらかというに分かってる	32
● どちらかというに分かっていない	27
● まったくわからない	8

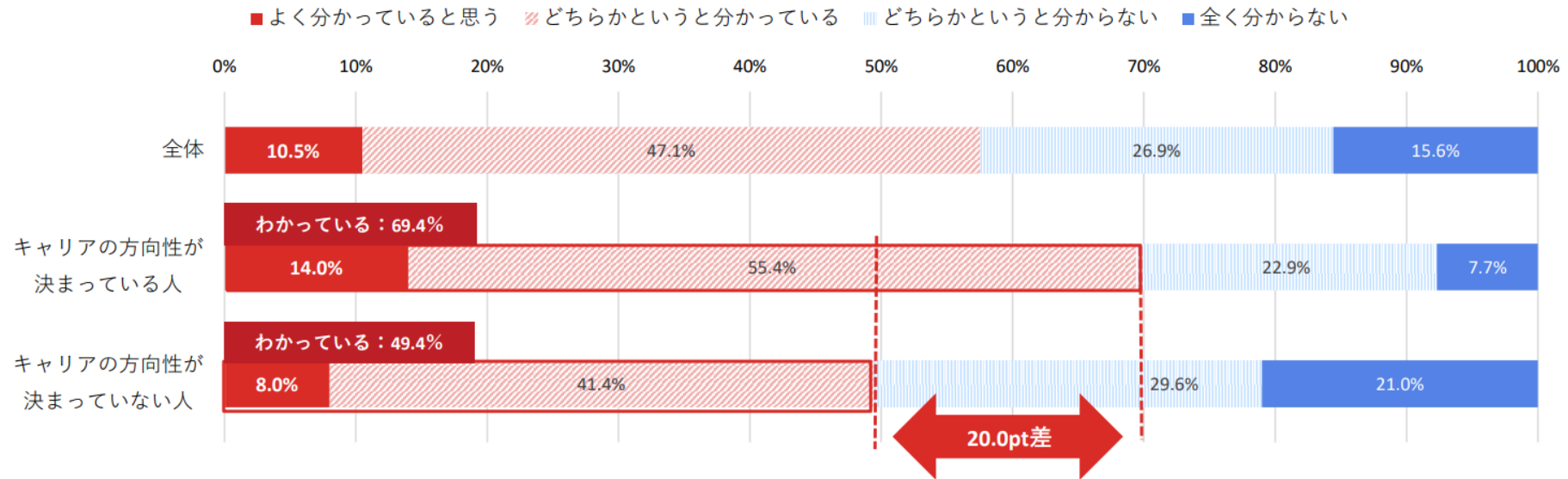


マイナビと比較するとやや強みを理解している学生が多い

全国的には自信のある学生は少ない

自分の特技や強み、適性についてどの程度把握していますか

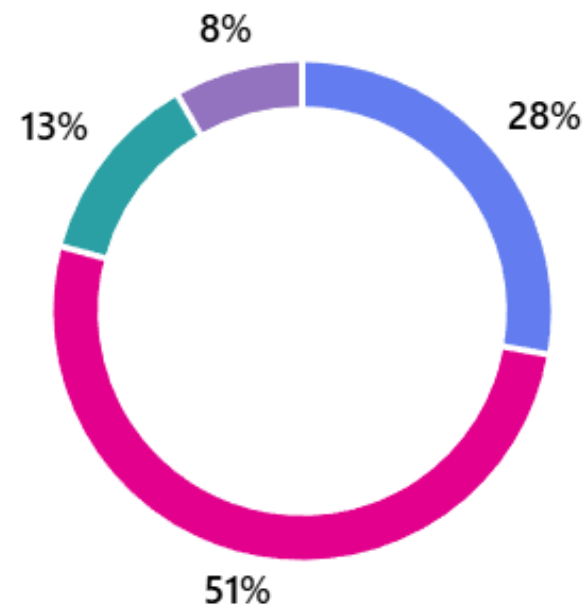
【図3】現時点で、自分の特技や強み、適性についてどの程度把握しているか



- ・ キャリアの方向性が決まっている人と決まっていない人では20%の差があり、自己理解が深い人ほどキャリアの方向性が決まりやすいことが分かった。そのため、キャリアの方向性が決まっていない層には自己分析を充実させることが必要であると考えられる。

15. 今後、インターンシップ等のキャリア形成プログラムに参加したいと思いませんか。

● 参加したい	20
● どちらかといえば参加したい	37
● どちらかといえば参加したくない	9
● 参加したくない	6

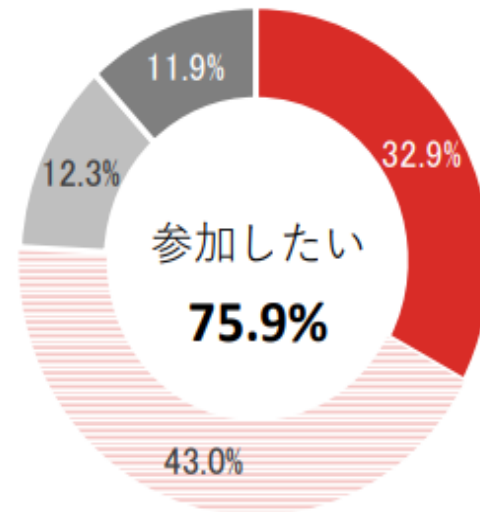


比較するとインターンシップに参加したい学生の比率は双方高く
全国の傾向と同じ

今後、インターンシップのキャリア形成プログラムに参加したいと思いますか

【図7】 インターンシップ等のキャリア形成プログラムへの参加意向

- 参加したい
- ▨ どちらかといえば、参加したい
- どちらかといえば、参加したくない
- 参加したくない

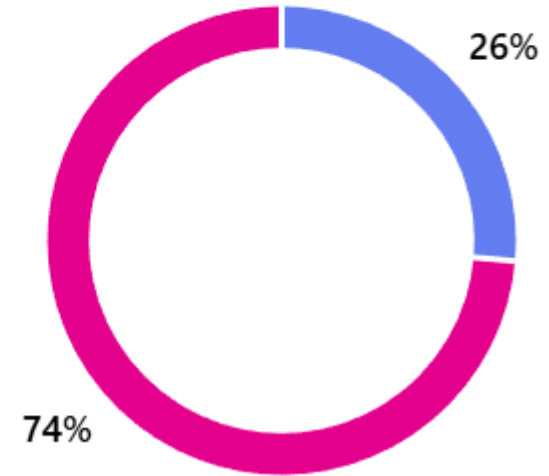


・ 参加したいと考えている人が計75.9%と多くおり、これはインターンシップが就職活動をするための必須プロセスだと認識している人が多くいることが考えられる。

・ しかし、関心はあるが迷っているといった層が多いため、どのインターンを選べばいいか分からない、参加のハードルが高いといった理由で踏み切れていない人が多いのではないかと考えられる。

16. 今現在、あなたは就職活動に向けた準備を始めていますか

● 始めている	19
● 始めていない	53



マイナビによると11月時点での学生たちはインターンシップに参加するなどして準備している学生は8割以上いる

アンケート結果はマイナビと比較すると非常に少ない結果となっている

現在、就職活動に向けた準備を始めていますか

(47)今現在、あなたは就職活動に向けた準備を始めていますか。※主観で構いません

	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	文系	理系	男子	女子
回答数	1,081	193	377	173	338	570	511	366	715
始めている	15.0%	16.6%	17.2%	13.9%	6.8%	16.9%	11.1%	15.6%	14.3%
まだ始めていない	85.0%	83.4%	82.8%	86.1%	93.2%	83.1%	88.9%	84.4%	85.7%

・インターンシップの参加意欲や就活の準備状況から、就活やキャリアについて考える必要性は感じているが、行動に移せていない人が多くいることが分かる。これは、就活への不安やプレッシャー、自信のなさといった心理的要因が影響していると考えられる。

マイナビの調査結果と比較して

- ・キャリア・進路についての意識については、進路やキャリアがまだ明確に決まっていない答えた学生が本学でも過半数。マイナビでも迷っているという段階の学生が多くいた。しかし、本学の場合はやや高い傾向にあるため、キャリア教育の早期支援がより大切と感じる。
- 自分の強みや得意なことを理解していると感じる学生は、マイナビと比較して本学ではやや多めの傾向。本学の学生は比較的、自己分析や自己理解に関して自信を持っている層がいる。

・インターンシップの関心では、インターンシップに参加したいと回答した学生はマイナビとほぼ同じ程度に高い。職業体験への関心は全国的トレンドと一致しており、意識の高さがうかがえる。ただし、実際にすでに参加した学生の割合はマイナビよりやや少ない。

→興味はあるが行動に移せていない層が課題。

・就職への準備状況は、すでに情報を集め始めているといった答えがマイナビより少なめ。

したがってキャリアセンターなどにおける早期行動を促すサポートが有効と考えられる。

まとめ

就職活動は個人の価値観と社会のニーズが交差する重要な転機である。研究では企業選考における情報収集力や自己分析の質が高める要因と判明した。早期準備と目的意識の明確化がこれからの就職活動への第一歩となる。

参考URL

- <https://career-research.mynavi.jp/wp-content/uploads/2025/01/s-teigaunen25-04.pdf>
- https://career-research.mynavi.jp/reserch/20250121_91302/
- https://career-research.mynavi.jp/reserch/20250423_95696/
- [2025年卒大学生就職意識調査 | マイナビキャリアリサーチLab](#)
- [【2025年最新】新卒3年以内の転職率（離職率）は？業界・学歴別のデータを解説](#)
- https://www.career-tasu.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/02/202502_gakuseichosakakuho.pdf
- https://career-research.mynavi.jp/reserch/20240416_74092/#i-5
- https://career-research.mynavi.jp/reserch/20240416_74092
- <https://onecareer.co.jp/news/press-release/250710/>
- https://www.career-tasu.co.jp/wp/wp-content/uploads/2024/03/202403_gakuseichosa_kakuho.pdf